

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 清野 智 様

JR岩泉線の早期復旧に関する請願書

平成22年7月31日に発生した土砂崩壊により運休が続いているJR岩泉線は、急峻な山々に囲まれ、交通難所にある当地域において、安全で確実な公共交通機関として地域住民の、特に交通弱者である高齢者や通学生の日常生活にとって、極めて重要な路線であります。また、近年は、全国から観光路線としても注目を集めており、当地域にとって欠かすことができない貴重な交通手段となっております。

現在は、マイクロバスによる代行輸送が行われておりますが、並行する国道340号は、道幅が狭い区間が多いことから、列車と比べて所要時間が長く、特に、冬期間は、積雪による道路状況の悪化から、さらに時間を要する状況となっております。また、急こう配、急カーブが多いことから、体調不良を訴える利用者もおり、高齢者の通院等にも支障が生じているなど、地域住民は、これまで1年5か月もの長い間、このような不便に耐えながらの生活を余儀なくされており、JR岩泉線の早期復旧は交通難所に住む当地域住民の切実な願いであります。

このような中、3月11日に発生した東日本大震災の大津波で、当地域は甚大な被害を受けました。現在、復興に向け、懸命に努力している当地域にとりまして、岩泉線の再開は、震災復興に取り組む地域の大きな支えになるものと確信しております。

つきましては、JR岩泉線に対する地元の強い思いをご賢察いただき、一日も早い復旧につきまして、特段のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【請願内容】

JR岩泉線を一日でも早く運転再開させること。

氏 名	住 所

* 個人情報事務局で適切に管理し、署名提出以外の目的では使用しません。